

# 宿ものがたり

栃木県・那須塩原  
「保養とアートの宿」  
板室温泉 大黒屋



玄関にもロープと川石、小枝を使った菅木志雄の作品『耕風』が



旅行作家  
竹村 節子  
たけむら せつこ

東京都出身。温泉雑誌、ガイドブックの編集者を経て旅行作家へ。2005年、第24回温泉関係功労者として環境大臣表彰を受ける。旅行作家、旅の眼編集長、一般財団法人自然公園財団理事、一般財団法人休暇村協会評議委員。著書多数、近著に「わたしの温泉観光論」(2014年9月刊)がある。

那須連峰の麓、ゆるやかな扇状に広がる高原の一角、那珂川源流近くに湧く板室温泉を訪ねた。

清流と緑あふれるのどかな板室温泉は「下野の薬湯」として知られ、アルカリ性単純温泉35〜45度の湯は、温まりの湯として保養効果の高さで知られてきた。現在でも長期滞在を受ける宿が多い。

なかでも大黒屋は室町時代の創業と伝え、その歴史は460余年。当代の室井俊二氏で16代を数える老舗旅館だ。先代までごく普通の湯治宿であったが、1985年、俊二氏が39歳で社長に就任以来、保養とアートを合体させた宿づくりを実践して来られた。基本はお客さまに快適に保養滞在していただくための環境づくり。そのための宿づくりの手法がアートであった。それも難解な「もの派」と呼ばれる1960年代の現代アート。その作家たちの中から菅木志雄氏を選んだ。「感性が引きあった」と、でもいのでしょうか、この作家

を世に出したい、と思ったのです」  
無名のうちから支援、数百点に及ぶコレクションは倉庫美術館に収蔵公開され、館内にも展示されている。3000坪の庭も菅氏の作品だ。素材そのものに芸術性を吹き込む「もの派」ならではの、自然であって作家の意思がひそむ造園。芸術など解らないという人でも、庭内へ一歩踏み入ると不思議な爽やかさに包まれる。人の感性を刺激するからだろう。

この宿の魅力はもう一つ、風呂にある。露天風呂付きの「たいようの湯」もよいが、蒸し湯付きひのき風呂が秀逸だ。ギリシャ語で「心の平安」の意「アタラクシア」と名付けられた低温蒸室は、韓国慶州から運んだ黄土の日干し煉瓦で築かれた、その遠赤外線効果で身体の芯からの発汗を促す。ひのき風呂(39〜40度)で20〜30分温まった後、専用の浴衣をつけて蒸室に20〜60分。浴後の爽快感は格別。手足のしびれなども軽減する。

## 宿の見どころ

1. アートスタイル経営を実践する室井俊二さん
2. 山や庭の四季を窓辺に楽しめる和洋室
3. 県内産の食材と四季にこだわった夕食
4. 「たいようの湯」の女性用露天風呂
5. チェックアウト時の玄関。音符を歌ってみよう
6. 菅木志雄作庭『風の耕路』に立つ「意識の門」



## 旅の楽しみ

栃木県・那須塩原

板室温泉は湯治保養の聖地。四季の移ろいに身を任せ、日常を忘れて温泉三昧に過ごせる、観光温泉とは一線を劃す数少ない温泉の一つ。  
公営の立寄り湯「板室健康のゆ グリーングリーン」内の露天風呂「らくらくの湯」では昔、綱につかまって入浴したという伝統が再現されている。隣に板室自然遊学センターもある。また、板室街道沿の「とちぎ明治の森公園」には明治洋館として国の重要文化財に指定された「旧青木家那須別邸」が一般公開されている。隣接する道の駅では、朝採りの野菜や卵、花卉、市内の土産品が揃う。話題のお菓子「みるマンジェ」も試食してみると良い。アウトレットは約150店舗、十分時間を取って立ち寄ろう。

**周辺MAP**

**板室温泉「大黒屋」**

**板室健康のゆ グリーングリーン**  
那珂川橋畔の日帰り入浴施設。露天風呂付き「らくらくの湯」「のびのびの湯」があり、週ごとに男女入れ替替。第4水曜休み。500円

**那須ガーデンアウトレット**  
関東最北のアウトレット。黒磯板室ICから800m、JR那須塩原駅から無料シャトルバスあり。10時~19時(季節により変更あり) 無休

**道の駅 明治の森 黒磯**

**旧青木邸那須別邸**  
明治時代の外務大臣・ドイツ公使を務めた青木周蔵が1888年に建てた那須の別邸で国指定重要文化財。(月曜休館) 9時~16時30分 200円

**ファームマーケット**  
パンの缶詰  
市内のパン・アキモト製で保存食としても人気。粒タイチゴ、チョコクリームなどがある。各400円。

**宿基本情報**  
●板室温泉「大黒屋」  
TEL:0287-69-0226 所在地:栃木県那須塩原市板室856  
基本宿泊料金:1泊2食付1万8510円から、シングルルームは1万9590円から 泉質:アルカリ性単純温泉  
※季節によりプラン・価格が随時変化します。詳細は直接お宿にお問い合わせください。

**交通**  
JR東北新幹線那須塩原駅から送迎タクシー(要予約500円)で30分、またはJR東北本線黒磯駅からバス35分、東北自動車道・黒磯板室ICより16キロ  
※お問い合わせ 那須塩原市商工観光課 TEL:0287-62-7156